

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405
◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～
◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2005・6



まちの人



道内初のカーシェアリングに取り組む

すがわらのぶひろ
須賀原 信広さん(52)

連絡先 ウインド・カー株式会社
TEL 611-0025 FAX 611-0086
ホームページ<http://windcar.jp>

○カーシェアリングとは

1980年代にヨーロッパで始まった。1台の自動車を複数の会員が共同利用するシステム。利用者は自ら車を所有せず、管理団体の会員になり、必要なときにその団体の車を時間単位(最短15分)で利用する。

車の無駄な利用を減らすことによる排出ガスの削減といった環境面、駐車場を節約することによる都市空間の有効利用といった点からも注目されている。



■白石区本郷通商店街エリアで実際に使用されている車。目的に合わせて車種を選択することも可能。

西野地区に住む須賀原信広さんは、八軒で自動車販売と整備の会社を営んで二十年ほどになります。須賀原さんとカーシェアリングとの出会いは四年前。ヨーロッパを旅行中、レンタカーを借りようとしたらカーシェアリングを行っていた地域だったといえます。自家用車でもなくレンタカーでもない、カーシェアリングに興味を持った須賀原さんは、各地を視察しました。カーシェアリングはレンタカーと違い、無人の駐車場が貸し出し場所となり、会員登録時に貸し渡し契約を結びます。利用料金は燃料代と保険料込

札幌にもう一度そよ風の音を呼び戻したい

みで後払いのため「使うもつたない」という気持ちになり、自然と使用する時間が減っていくのです。ところが、自家用車は購入費や駐車場代など、月平均五〜六万円の費用が掛かるため「使わないともつたない」気分になってしまいます。二台目の車を購入した人の約九割が高額の費用を支払いながら、一日平均二十分程度しか使用していないとのこと。「この使い方ではカーシェアリングの方が費用効率がいいし、環境にも優しいんです」。

子どものころは狸小路に住んでいた須賀原さん。当時の札幌は都心でも夜八時過ぎには風と電車の音しか聞こえない街だったそうです。今では西野地区でも車の音が絶え間なく聞こえるほどで、「あまりにも車が増えすぎた弊害」といいます。「車の使い方は百人百様。一人一人が車の使い方を見直す時期に来ているのでは。そのお手伝いをして、札幌にそよ風の音を呼び戻したい」。市が国に規制緩和を求めカーシェアリング特区となったことを受け、須賀原さんは新たな形の環境に優しい取り組みを進めています。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクスEメール nishi@city.sapporo.jp 西区総務企画課広聴係(上欄)へ。